細繊度蚕品種 “ あけぼの"の2齢期人工飼料育における給餌時期の検討

誌名	神奈川県蚕業センター試験研究報告
ISSN	0388824X
著者名	原,聖樹
発行元	神奈川県蚕業センター
巻/号	18号
掲載ページ	p. 18-18
発行年月	1989年11月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council Secretariat

神奈川蚕セ報，18,(18),1989.

細繊度蚕品種〝あけぼの〟の２齢期人工飼料育における給餌時期の検討

Seiki HARA
原　聖樹

特殊用途用の細繊度蚕品種として昭和６２年３月に指定された日５０５号・日506号×中505号・中５０６号（愛称：あけぼの）は、稚蚕の飼育経過が普通蚕品種に比較して約半日から１日ほど短いといわれている。それに応じて慣行の給餌時期を変える必要があり得ると考え、２齢期における給餌時期を検討したので報告する。

材料と方法

1. 飼育方法：１～２齢人工飼料育
2. 供試飼料：モーラス
3. 給餌時期

区別	給餌時期		
	２齢１日目	２日目	３日目
1. 対照区	○		○
2. 試験区	○	○	

4. 供試蚕数：各区5,０００頭（春Ⅰ・Ⅱ蚕期、初秋蚕期、晩秋蚕期）
   2,５００頭（初冬蚕期）
5. ２齢給餌量（対２0,０００頭）：2,５５０g
6. 給餌量配分比：0.５：0.５

結果と考察

飼育成績を第１表・第２表に示した。

２齢期の飼育経過は試験区が対照区に比較し１８～２２時間短縮され、蚕の発育も順調であった。対照区では、２回目の餌を十分に食べないうちに蚕が就眠する傾向が観察された。２眠蚕体重については春Ⅰ・Ⅱ蚕期は試験区が重く、初秋・晩秋・初冬蚕期は対照区が重かった。

以上の結果から、飼育経過の短いあけぼのの場合、２齢期は従来の隔日給餌（対照区）よりも連続給餌（試験区）の方法がよいと思われた。

第１表　給餌時期と飼育経過（日・時）

区	春Ⅰ蚕期			春Ⅱ蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			初冬蚕期		
	1齢	2齢	計	1齢	2齢	計	1齢	2齢	計	1齢	2齢	計	1齢	2齢	計
1	4.00	4.00	8.00	4.01	3.23	8.00	3.23	4.01	8.00	4.01	4.03	8.04	4.00	4.02	8.02
2	4.00	3.04	7.04	4.01	3.04	7.05	3.23	3.04	7.03	4.01	3.09	7.10	4.00	3.04	7.04

第２表　給餌時期と２眠蚕体重（対１頭・mg）

区	春Ⅰ蚕期	春Ⅱ蚕期	初秋蚕期	晩秋蚕期	初冬蚕期
1	34.0	31.2	44.0	28.0	31.0
2	34.4	36.4	40.0	24.0	24.0